

# 内部統制

## 基本方針と推進体制

当社は、事業活動の展開に伴って生じる不確実性(リスク)を常に考慮し、公正透明な事業活動を効率的に実施するための各種対策を講じることを内部統制体制の整備に関する基本方針として定め、これにしたがって、コンプライアンス、情報セキュリティ、リスクマネジメント、グループ会社マネジメント等に関して、グループ全体での統制を行うための内部統制体制の構築・整備を推進しています。

 内部統制体制の構築に係る基本方針及び運用状況等については有価証券報告書を参照ください。  
<https://www.nttdata.com/global/ja/investors/library/asr/>

## 具体的な取り組み

### 内部統制委員会について

当社は、内部統制体制の確立及びリスクマネジメントの推進を目的として、コーポレート総括担当役員を委員長、関連するコーポレート組織の長及び海外・国内の事業会社のリスクマネジメントを統括する役員を委員として構成される内部統制委員会を原則年4回定期開催し、その議事については取締役会へ報告しています。

内部統制委員会においては、内部統制体制の有効性評価として、取締役会にて決議された内部統制体制の整備に関する基本方針で定義された内部統制体制が、各年度の事業活動の中で正しく構築され有効に機能しているかを確認しています。

なお、2023年7月より3社体制へ移行した中、NTTデータグループ社の内部統制委員会に、従来の役割に加えグループ全体のリスクマネジメント推進機関としての権限を強化するなど、内部統制委員会の機能と構成を見直すとともに、開催頻度を増やし、グループ全体の内部統制の有効性を確保しており、今後もグローバルな事業拡大を踏まえ、グループ全体の内部統制の強化に継続して取り組んでいきます。

### 内部監査の実施状況

当社は、業務執行部門から独立した立場で監査を行う監査部を設置しており、内部監査及び財務報告に係る内部統制の評価に関わる要員の数は、2024年3月末現在38人です。独立した立場で実効的な監査を実施するにあたり、監査部長は経営会議だけではなく取締役会に対しても監査計画及び監査結果を報告しています。また、監査等委員会に対しても個別に報告を行い、意見交換を実施することで相互連携を図っています。

内部監査の取り組みとして、2023年度は、主にビジネスプロセスへの準拠、労務管理、BCP、情報セキュリティ等に着眼した監査テーマで、NTTデータグループ社、NTTデータ、NTT DATA, Inc. (国内) 及び国内外グループ会社28社に対して直接監査を行い、国内外グループ会社13社の内部監査活動をモニタリングしました。また、グループ全体の内部監査の充実を図るため、国内外グループ会社98社において統一された監査項目による自主点検を実施しました。

更に、各種情報システムから抽出したデータをCAAT\*ツールを活用して分析を行うデータ分析監査の取り組みを進め、2023年度はNTTデータグループ社、NTTデータ、NTT DATA, Inc. (国内) 及び国内外グループ会社95社に対して適用しています。

今後も、海外を含むグループ会社の内部監査部門及び監査等委員との連携、グローバルな内部監査体制の確立に向けた取り組みを推進するとともに、内部監査の質的向上・量的拡大を図っていきます。

\* Computer Assisted Audit Techniques の略。コンピュータ利用監査技法と呼ばれる監査実施時の手法

### 財務報告に係る内部統制について

当社は、財務報告に係る内部統制システムの信頼性の確保に向けて、経営理念や体制、各種規程等の全社的な内部統制、業務プロセス及びITに関する内部統制における整備と運用状況の確認を行っています。これらの評価計画及び評価結果については、原則、定期開催されるステアリングコミッティへ報告し、財務報告に係る内部統制の有効性について評価を行っています。